

平成24年1月

金田祥 学位論文審査要旨

主 査 林 一 彦
副主査 紀 川 純 三
同 小 川 敏 英

主論文

Myometrial invasion by endometrial carcinoma: evaluation with 3.0T MR imaging

(子宮体癌における筋層浸潤の評価：3.0T MRIによる検討)

(著者：金田祥、藤井進也、福永健、柿手卓、神納敏夫、紀川純三、原田省、小川敏英)

平成23年 Abdominal Imaging 36巻 612頁～618頁

審 査 結 果 の 要 旨

本研究は3.0T MRIのT2強調像と3D造影T1強調像のダイナミックスタディの子宮短軸像および長軸像を用いて、子宮体癌の予後因子の一つである筋層浸潤の深達度を評価したものである。その結果、筋層浸潤の有無については、約90%の高い感度、正診率を示し、深層浸潤の有無についても、約90%の高い感度、特異度、正診率が得られた。今回の結果は従来の1.5T MRIを用いた報告と比べ、3.0T MRIは同等の高い診断能を有しており、子宮体癌の筋層浸潤の評価における3.0T MRIの有用性を示している。本研究の内容は、呼吸性移動のある腹部、骨盤領域においては1.5T MRIの優位性が未だ指摘されている中、本領域における3.0T MRIの臨床的有用性を示したものであり、明らかに学術水準を高めたものと認める。